

第2期千葉県教育振興基本計画

新 みんなで取り組む「教育立県ちば」プラン

平成30年度

重点施策推進計画（工程表）

千葉県教育委員会

平成30年3月20日

はじめに

千葉県では、教育基本法の規定に基づき、平成22年3月に、平成22年度から平成26年度までを計画期間とする第1期千葉県教育振興基本計画「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を策定し、「教育立県ちば」の実現に向けて鋭意取り組んでまいりました。

平成27年2月には、この教育振興基本計画の後継計画として、平成27年度から平成31年度までを計画期間とする第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」(以下「第2期計画」という。)を策定し、今年の実施4年目となります。

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程の実現」の理念が示され、子どもたちが未来の創り手となるために必要な資質・能力を一層確実に育成していくことが求められています。一方で、学校における働き方改革の実現に向けた環境整備を進める必要もあります。こうした教育改革の動向も踏まえ、千葉県教育委員会として、様々な事業や取組を推進しているところです。

また、千葉県では平成32年度までの4年間に重点的に取り組む政策・施策を取りまとめた新総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」を策定し、更なる飛躍に向けた一步を踏み出しました。さらに知事と教育委員を構成員とする平成29年度の総合教育会議では、「子どもたちが困難を乗り越えて生きていくための力の育成～『不登校』に焦点を当てて～」や「教員の資質向上」をテーマとして意見交換が行われました。会議における意見等を踏まえて、教育委員会と知事部局がオール県庁で連携して、より一層、施策の充実を図ってまいります。

本工程表は、新学習指導要領や新総合計画等の趣旨と内容も基盤に据えつつ、第2期千葉県教育振興基本計画の目標の達成に向け、平成30年度に実施する主要事業の概要や実施内容などをお示しすることで、県の教育施策について県民の皆様にご理解をいただこうと作成したものです。

第1章では、第2期計画の施策体系を視覚的に整理しました。

第2章では、平成30年度の主要事業をピックアップし、プロジェクトごとに整理しました。

第3章では、各施策の目標を示すとともに、主な事業をそれぞれの施策ごとに整理し、基本計画に示された各プロジェクト、各施策をどのように実施していくのかを具体的に示しました。

今後、ここで示した事業内容の進捗状況を踏まえ、成果や課題、今後の改善策等を示した「教育委員会の点検・評価」を実施することとしております。

「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」の実現に向けて、県や市町村の行政はもとより、公立学校や、公立学校とともに公教育の一翼を担う私立学校、家庭、地域の住民、企業や団体などが連携・協働し、子どもたちの教育にかかわる全ての県民が一体となって取り組むことができるよう、引き続き、御協力いただければ幸いです。

平成30年3月20日

千葉県教育委員会

目次

はじめに

第1章 施策体系 - 施策と重点的な取組の方向性 -	1
第2章 平成30年度の主要事業	5
1 プロジェクトごとの主要事業	6
2 横断的な課題への取組一覧	12
第3章 主な事業の状況	13
プロジェクト 夢・チャレンジプロジェクト	16
プロジェクト 元気プロジェクト	41
プロジェクト チームスピリットプロジェクト	89
付録A ちばっ子「学力向上」総合プラン(ファイブ・アクション)	105
付録B 平成29年度総合教育会議のまとめ	111
付録C 教育委員会の組織	117
索引	119

第1章

施策体系

— 施策と重点的な取組の方向性 —

第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」は、3つのプロジェクト、17の施策、60の取組から構成されていますが、本章では、施策や取組の全体像がわかりやすいよう、第2期計画の施策体系を視覚的に整理しました。

しかし第2期千葉県教育振興基本計画策定から3年が経過し、この間、教育改革を巡る動きや、様々な教育環境の変化がありました。本工程表ではこのような状況を踏まえ、内容の加筆^{*1}を行いました。

^{*1} 施策体系(p.2-)において、加筆した部分に下線を引きました。

施策体系 施策と重点的な取組の方向性

プロジェクトⅠ

志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる ~夢・チャレンジプロジェクト~

施策(5)

1 社会を生き抜く力を育む主体的な学びの確立 (p.17)

2 道徳性を高める実践的人間教育の推進 (p.22)

3 生きる力の基本となる健康・体力づくりの推進 (p.27)

4 社会的・職業的に自立し地域で活躍する人材の育成 (p.31)

5 郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成 (p.36)

重点的な取組の方向性(19)

- (1) 読書活動や体験活動を通じた学習意欲の向上
- (2) 新学習指導要領を踏まえた、子どもたちの主体的な学びを支える取組の充実
- (3) 授業力の向上による学びの深化
- (4) 学力向上に係る取組の適切な評価・改善の推進

- (1) 豊かな人間性を育む千葉ならではの道徳教育の展開
- (2) 社会の一員として必要な力を育む教育の推進
- (3) 五感を通して学ぶ体験活動の推進
- (4) 自他ともに尊重し命を大切にす心の教育の推進

- (1) 体力向上を主体的に目指す子どもの育成
- (2) 子どもの健康を守る学校保健の充実
- (3) 食を通じた健康づくりの推進

- (1) 系統的なキャリア教育の推進
- (2) 地域を支える人材の育成
- (3) 企業や大学・研究機関等との連携による職場体験等の充実
- (4) 子どもや若者の社会参加の促進

- (1) 郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進
- (2) 多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成
- (3) 外国語教育の充実
- (4) 外国人児童生徒等の受入れ体制の整備

プロジェクトⅡ

ちばのポテンシャル(潜在能力)を生かした教育立県の土台づくり ~元気プロジェクト~

施策(9)

6 人間形成の場としての活力ある学校づくり (p.42)

7 教育現場の重視と教員の質・教育力の向上 (p.49)

重点的な取組の方向性(29)

- (1) 魅力ある高等学校づくり
- (2) 私立学校の振興
- (3) 公立学校と私立学校の連携の推進
- (4) 地域に開かれた魅力ある学校づくり
- (5) 豊かな学びを支える学校・学習環境づくり

- (1) 熱意あふれる人間性豊かな教員の採用
- (2) 信頼される質の高い教員の育成
- (3) 子どもの多様化に対応したきめ細かい教育の推進
- (4) 教職員の負担軽減と学校問題解決のための支援

8 いじめ防止対策の推進 (p.55)	<ul style="list-style-type: none"> (1) いじめの予防や早期発見のための取組の推進 (2) いじめの防止等のための人材の確保と資質の向上 (3) いじめの防止等のための啓発活動の推進 (4) インターネットを通じて行われるいじめへの対策の推進
9 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実 (p.60)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教職員の専門性の向上をはじめとした幼児教育の質の向上 (2) 小学校就学前教育から初等教育への円滑な接続
10 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 (p.63)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 早期からの教育相談と支援体制の充実 (2) 連続性のある多様な学びの場と支援の充実 (3) 特別支援学校の整備と機能の充実 (4) 卒業後の豊かな生活に向けた支援の充実 (5) 特別支援教育に関する教員の専門性の向上
11 読書県「ちば」の推進 (p.70)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 家庭や地域における子どもの読書活動の支援 (2) 学校等における読書活動の推進 (3) 図書館における読書活動の充実
12 フェアプレーの精神を育て、楽しさや感動を分かち合うスポーツの推進 (p.75)	<ul style="list-style-type: none"> (1) <u>東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした</u>、「するスポーツ」・「みるスポーツ」・「ささえるスポーツ」の推進 (2) 人々に夢と感動を与える競技力の向上
13 ちば文化の継承と新たな創造 (p.80)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 文化にふれ親しむ環境づくり (2) 文化財の保存・継承
14 安全・安心な学びの場づくりの推進 (p.84)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 校舎等の計画的な整備、バリアフリー化の促進 (2) 東日本大震災を教訓とした防災教育と安全教育の推進

プロジェクトⅢ

教育の原点としての家庭の力を高め、人づくりのために力をつなげる～チームスピリットプロジェクト～

施策(3)	重点的な取組の方向性(12)
15 親の学びと家庭教育への支援 (p.90)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 人間形成の土台となる家庭教育への支援 (2) 学校・家庭・地域が連携した家庭教育の推進 (3) 親となってかけがえのない子育てを行うための教育の推進
16 つながりや支え合いによる地域コミュニティの形成と生涯学習社会の実現 (p.94)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校を核とした地域コミュニティの構築と子どもの学びへの支援 (2) 生涯学習社会を目指した取組の推進 (3) 社会教育推進体制の強化 (4) 高等教育機関との連携 (5) 県教育委員会と市町村、私学等との連携強化
17 学びのセーフティネットの構築 (p.100)	<ul style="list-style-type: none"> (1) <u>不登校対策など</u>、子どもや家庭に対する相談支援体制の充実 (2) 学び直しなどの再チャレンジに対する支援の充実 (3) 経済的・家庭的理由など様々な困難への支援 (4) 虐待など不適切な養育から子どもを守る取組の充実・強化

第2章

平成30年度の主要事業

本章では、第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」に掲げた目標の達成に向けて、平成30年度に実施する主要事業を、3つのプロジェクトごとに整理し、その推進方法を説明しています。

また、新学習指導要領や学校における働き方改革等への対応等について、施策横断的に整理し、掲載ページを示しています。

なお、教育委員会の組織改編(平成30年4月)に伴う課名^{*1}で記載しています。

^{*1} 平成30年度教育委員会組織図については、付録C(p.117～)を参照してください。

1 プロジェクトごとの主要事業

志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる

～夢・チャレンジプロジェクト～

(1) ちばっ子「学力向上」総合プランの推進（学習指導課）174,484千円

児童生徒の学力向上のため、授業中における学習支援、放課後学習の充実、体験学習など、多様な学習機会の提供、魅力ある授業づくりなどに取り組む。（p.18～p.21、p.51 参照）

〔主な事業〕

ア 学習サポーター派遣事業 144,453千円

児童生徒の学力向上のため、授業中における学習支援、学校教育の一環として行う放課後学習等の取組に対して、退職教員などを学習サポーターとして小・中学校に派遣する。

イ 多様な学習機会の提供 21,778千円

小・中・高等学校が相互に連携し、専門的な学びの機会を提供するとともに、先進的な理数教育を推進するなど、多様な学習機会を提供する。

ウ 魅力ある授業づくり 4,917千円

子どもたちの学びの視点から、創意工夫した教材を用いるなど学習内容の充実を図る。

(2) 道徳教育推進プロジェクト事業（学習指導課、児童生徒課）32,502千円

小・中・高等学校の児童生徒の発達段階に応じた道徳教育の推進を図る。（p.23 参照）

〔主な事業〕

・指導用映像資料の作成	21,058千円
・道徳教育推進校における研究	3,200千円
・心の教育推進キャンペーン	2,276千円
・情報モラル教育研修会	3,000千円

(3) 国際的に活躍できる人材の育成（学習指導課、教育政策課）275,158千円

国際的に活躍できる人材を育てるため、海外留学への助成や外国語学習の充実を図るとともに、国際感覚や多文化理解の醸成に向けた国際教育交流を推進する。（p.38～p.40 参照）

〔事業内容〕

ア 高校生等海外留学助成事業（学習指導課）	15,600千円
イ 英語等外国語教育推進事業（学習指導課）	242,558千円
ウ 国際教育交流推進事業（教育政策課）	17,000千円

ちばのポテンシャル（潜在能力）を生かした教育立県の土台作り

～元気プロジェクト～

(1) 夜間定時制高等学校夕食費補助事業（学校安全保健課）21,060千円

県立高等学校の夜間定時制課程に在籍する生徒の経済的負担の軽減を図るため、夕食費の一部を助成する。（p.44 参照）

(2) 【新規】教員の多忙化対策推進モデル事業（教職員課、体育課）25,483千円

教員の長時間勤務の改善に向けて、学校への非常勤職員の配置等について検討するため、モデル事業を実施する。（p.54 参照）

〔事業内容〕

ア スクール・サポート・スタッフの配置（教職員課） 18,789千円

教員の事務作業を補助する非常勤職員の配置について検討するため、モデル事業を実施する。

イ 部活動指導員配置に対する助成（体育課） 6,694千円

市町村による中学校への部活動指導員の配置に対する助成について検討するため、モデル事業を実施する。

(3) 学校におけるいじめ・不登校等対策の推進 852,041千円

いじめ・不登校の未然防止、早期発見・解決のため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを増員するとともに、新たに不登校対策支援チームを設置するなど、児童生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりを進める。（p.56～p.59 参照）

なお、不登校対策は、「第3章 主な事業の状況」において、プロジェクトとして整理している。

（p.101 参照）

〔事業内容〕

ア 学校への支援体制の強化（児童生徒課、警察本部少年課）756,739千円

・スクールカウンセラーの配置（児童生徒課） 603,484千円

児童生徒のカウンセリングや教職員・保護者等への助言・援助を行うスクールカウンセラーを配置する。

・スクールソーシャルワーカーの配置（児童生徒課） 48,221千円

問題の解決に向けて福祉機関等との連携や、学校・家庭環境への働きかけを行うスクールソーシャルワーカーを配置する。

・不登校対策支援チームの設置【新規】（児童生徒課） 7,193千円

不登校児童生徒のうち、長期化しているケース等を対象に知見のある専門家等がチームを組んで支援にあたる。

・スクール・サポーターの配置（警察本部少年課） 97,841千円

学校が実施する非行防止やいじめ対策の支援を行うスクール・サポーターを各少年センターに配置する。

- イ 相談体制等の充実（児童生徒課、県民生活・文化課）67,076千円
 - ・子どもと親のサポートセンター等における相談事業（児童生徒課） 61,667千円
 - ・ネットパトロールの実施（県民生活・文化課） 5,409千円
 ネットいじめ、非行、犯罪被害防止の観点から、青少年の書き込み頻度の高いサイトや掲示板等を監視する。
- ウ 学校におけるいじめ対応力強化等（児童生徒課、学事課）28,226千円
 - ・生徒指導アドバイザーの配置 6,672千円
 - ・いじめ問題対策リーダー養成集中研修 3,672千円
 - ・いじめ防止啓発資料 3,265千円
 - ・いじめ防止対策推進条例に基づく調査会等 1,617千円
 - ・教育支援センターの整備促進等に関する調査研究事業 13,000千円

（4）特別支援アドバイザー事業（特別支援教育課）61,681千円

障害のある子どもたちの指導方法や支援体制について、公立の幼稚園、小・中・高等学校からの要請に応じて特別支援アドバイザーを派遣し、教職員等に助言・援助を行う。（p.65 参照）

（5）【新規】特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業（特別支援教育課）

12,000千円

東京オリンピック・パラリンピックを契機として、共生社会の形成に向け、障害者スポーツを身近なものとし、スポーツによる地域との交流を深めるため、特別支援学校を拠点として障害者スポーツの振興を図る。（p.66 参照）

〔事業内容〕

- ・特別支援学校における障害者スポーツの普及・啓発
- ・地域の小・中学校等との交流及び共同学習の実施

（6）特別支援学校整備事業（教育施設課）365,900千円（債務負担行為 59,000千円）

児童生徒の増加に伴い、教室不足・過密の状況が著しい特別支援学校について校舎等の整備を行う。（p.68 参照）

〔主な事業〕

- ・柏特別支援学校の高等部分離に伴う学校新設（120人規模に対応）【新規】 26,500千円
- ・市川特別支援学校作業棟増築（30人規模に対応） 169,100千円
- ・君津特別支援学校作業棟増築（20人規模に対応） 83,850千円
- ・市原特別支援学校教室棟増築（56人規模に対応） 76,000千円
- ・桜が丘特別支援学校教室棟増築（57人規模に対応）【新規】 9,000千円

(7) 【新規】新県立図書館基本計画策定事業（生涯学習課）15,000千円

良質な図書館サービスを提供するため、3館体制の県立図書館について、1館に機能集約を図ることとし、新県立図書館の整備に係る基本計画を策定する。（p.74 参照）

(8) ちばアクアラインマラソン開催事業（体育課）140,000千円

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力の発信のために、東京湾アクアラインを活用した「ちばアクアラインマラソン2018」を、平成30年10月21日（日）に開催する。（p.76 参照）

(9) 総合スポーツセンター野球場耐震・大規模改修事業（体育課）381,800千円

（債務負担行為 571,000千円）

老朽化し、耐震性が不足する総合スポーツセンター野球場について、耐震改修等を行うとともに、施設機能を充実させるために必要な改修を行う。（p.76 参照）

(10) オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業（教育政策課）9,000千円

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいく。（p.78 参照）

〔事業内容〕

・推進校(60校)におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践	6,000千円
・全国中核拠点との連携	639千円
・事業成果の普及	2,361千円

(11) 東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業

（体育課、障害者福祉推進課）115,000千円

東京オリンピック・パラリンピックに本県出身の選手を1人でも多く輩出するため、ジュニア世代の選抜選手及び障害者スポーツ選手を強化する取組に助成する。

開催年に向けて、特に出場が期待される選手の強化に助成を重点化していく。（p.79 参照）

〔事業内容〕

- ・選手強化の取組への助成
- ・障害者競技組織の体制整備 等

(12) 千葉県競技力向上推進本部事業（体育課）200,000千円

本県スポーツ選手の育成・強化を図るとともに、スポーツを通じた活力ある地域づくりを推進するため、千葉県競技力向上推進本部が行う事業に対し助成する。（p.79 参照）

(13) 千葉県立中央博物館特別展（文化財課）15,427千円

千葉県立中央博物館の特別展「恐竜ミュージアム in ちば」を開催する。（p.81 参照）

(14) 【新規】「明治150年」関連事業（文化財課）4,113千円

平成30年（2018年）が明治元年（1868年）から満150年にあたることをきっかけとして、明治以降の歩みを次世代に遺し、明治の精神に学び、日本の強みを再認識するため、「明治時代の千葉」に関連する展示等を実施する。（p.82 参照）

〔主な事業〕

- ・ 関宿城博物館企画展「文明開化の力-わたしたち、江戸時代を卒業します！-」
- ・ 県立美術館アート・コレクション「近代洋画の先駆者・浅井忠」
- ・ 中央博物館春の展示「千葉の鉄道物語-線路が開いた『観る・住む・運ぶ』-」

(15) 文化財保存整備助成事業（文化財課）42,600千円

文化財の適正な保存管理とその活用を図るため、国・県指定文化財の保存整備・修理等の事業に対して助成する。（p.83 参照）

〔助成内容〕

- | | |
|-----------------|----------|
| ア 文化財保存整備事業 | 38,500千円 |
| イ 無形民俗文化財保存伝承事業 | 4,100千円 |

(16) 県立学校における安全対策（教育施設課）2,184,600千円

県立学校施設の安全を確保するため、屋内運動場等の天井の落下防止対策を行うとともに、老朽化の著しい京葉工業高校実習棟の改築等を行う。（p.85 参照）

〔事業内容〕

- | | |
|-----------------|-------------|
| ア 県立学校非構造部材対策事業 | 1,540,000千円 |
| イ 県立学校老朽化対策事業 | 644,600千円 |

(17) 【新規】県立学校長寿命化対策事業（教育施設課）279,589千円

県立学校施設の長寿命化対策を推進するため、「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき、大規模改修等を行う。（p.85 参照）

〔事業内容〕

- | | |
|-------------|-----------|
| ア 県立学校大規模改修 | 46,922千円 |
| イ 県立学校外壁等改修 | 232,667千円 |

(18) 高等学校再編事業(教育施設課)168,300千円

県立学校改革推進プラン等に基づく魅力ある高等学校づくりを進めるため、県立学校の施設・設備の整備を行う。(p.85 参照)

〔主な事業〕

- ・市原・鶴舞桜が丘高校の統合 165,000千円
- ・我孫子東高校への福祉コースの設置 2,100千円

(19) 県立施設トイレ改修事業(生涯学習課、文化財課、体育課)144,710千円

県立施設のトイレについて、施設の魅力向上を図るために、改修工事を行う。(p.86 参照)

〔事業内容〕

- ・社会教育施設トイレ改修 40,350千円
- ・総合スポーツセンタートイレ改修 104,360千円

教育の原点としての家庭の力を高め、人づくりのために力をつなげる

～チームスピリットプロジェクト～

(1) 家庭教育支援チーム設置推進事業(生涯学習課)3,000千円

少子化や核家族化、地域のつながりの希薄化などにより、子育て中の保護者が孤立することを防ぐため、市町村が設置する「家庭教育支援チーム」の運営費に対して助成する。(p.91 参照)

(2) 放課後子供教室推進事業(生涯学習課)120,065千円

子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、市町村が小学校の余裕教室等を活用し、地域住民の協力を得て、勉強やスポーツ、地域との交流等を行う「放課後子供教室」の運営費に対して助成する。(p.95 参照)

(3) 公立高等学校就学支援金(財務課)9,610,000千円

公立高校に在学する生徒の経済的負担の軽減を図るため、授業料相当額を支給する。

(p.103 参照)

(4) 公立高等学校等奨学のための給付金(財務課)1,077,085千円

公立高校等に在学する生徒の保護者の教育費負担軽減を図るため、奨学のための給付金を支給する。(p.103 参照)

(5) 千葉県奨学資金【特別会計】(財務課)724,679千円

高等学校等の在学者で経済的理由により修学が困難な者に対し、学資を貸し付ける。

(p.103 参照)

2 横断的な課題への取組一覧

教育改革（新学習指導要領）に関連する事業

新学習指導要領及び高大接続改革への対応	p.15
ちばっ子「学力向上」総合プラン1～4	施策1取組(1)～(4)p.18～21
道徳教育推進プロジェクト	施策2取組(1)p.23
道徳読み物教材等の活用促進	施策5取組(1)p.37
グローバル人材プロジェクト	施策5取組(2)p.38
語学指導等を行う外国青年招致事業	施策5取組(3)p.39
県立学校における「コミュニティ・スクール」設置事業	施策6取組(4)p.47
教員採用選考	施策7取組(1)p.50
ちばっ子「学力向上」総合プラン5	施策7取組(2)p.51
総合教育センター研修事業	施策7取組(2)p.51
教職員研修(小・中・高等学校)	施策7取組(2)p.51
学校教育の推進(幼児教育)	施策9取組(1)p.61
教職員研修(幼稚園等)	施策9取組(1)p.61
異年齢交流の推進	施策15取組(3)p.93
地域とともに歩む学校づくり推進支援事業	施策16取組(1)p.95
放課後子供教室推進事業	施策16取組(1)p.95

働き方改革に関連する事業

情報教育の充実	施策1取組(3)p.20
少人数教育の推進	施策7取組(3)p.52
教職員メンタルヘルス対策事業	施策7取組(4)p.53
学校の業務改善の推進	施策7取組(4)p.54
教員の多忙化対策推進モデル事業【新規】	施策7取組(4)p.54
学校問題解決支援対策事業	施策7取組(4)p.54
いじめ防止対策推進事業	施策8取組(2)p.57
スクール・サポーター制度	施策8取組(2)p.57
地域とともに歩む学校づくり推進支援事業	施策16取組(1)p.95

平成29年度総合教育会議の協議結果と関連する事業（不登校・教員の資質向上）

子どもと親のサポートセンター調査研究事業	不登校	施策6取組(5)p.48	
子どもと親のサポートセンター研修事業		施策7取組(2)p.52	
不登校対策の推進		施策17取組(1)p.101	
子ども・若者育成支援推進事業		施策17取組(1)p.101	
定時制高校・通信制高校の充実		施策17取組(2)p.102	
地域連携アクティブスクールの充実		施策17取組(2)p.102	
ちばっ子「学力向上」総合プラン5		施策7取組(2)p.51	
「教師力トップ」アクティブプラン		教員の資質向上	
総合教育センター研修事業			施策7取組(2)p.51

東京オリンピック・パラリンピックに関連する事業

特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業【新規】	施策10取組(2)p.66
オリンピック・パラリンピック普及・教育推進事業	施策12取組(1)p.77
オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業	施策12取組(1)p.78
キャンプ・国際大会誘致・受入事業	施策12取組(1)p.78
東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業	施策12取組(2)p.79

定時制高校の充実に関連する事業

県立高等学校再編事業	施策6取組(1)p.43
夜間定時制高等学校夕食費補助事業	施策6取組(1)p.44
いじめ防止対策推進事業	施策8取組(1)(2)p.56、57
定時制高校・通信制高校の充実	施策17取組(2)p.102